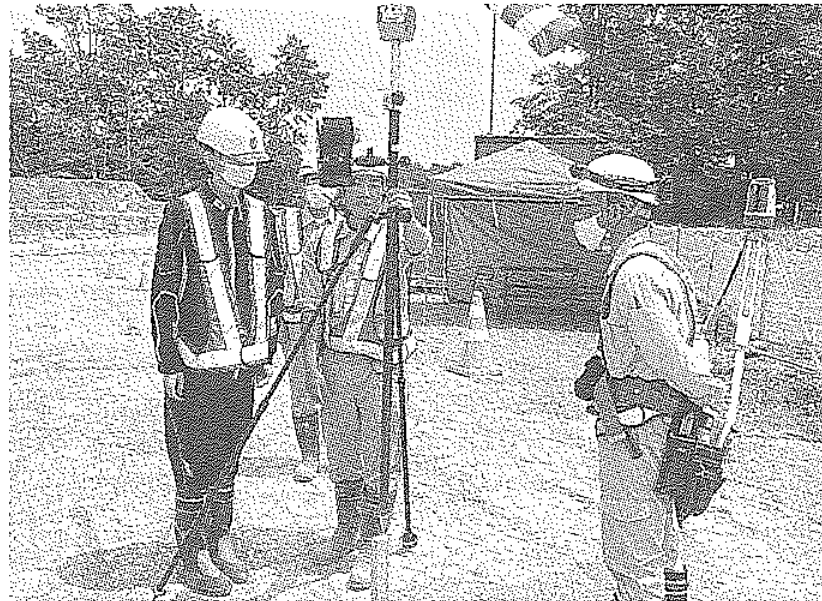


建設業の役割知って 平田建設 士幌高校生受入



【帯広発】(株)平田建設(士幌、長谷川雅毅社長)は、20日から3日間、士幌高校のインターンシップに協力した「写真」。参加したア

グリビジネス科2年生の澤田頼生さんが農業農村整備や建築工事、土質試験の様子などを見学。地域の産業や暮らしを支える建設業の

役割、施工管理の仕事などについて理解を深めた。

初日は、本社で建設業の役割などについて説明を行ったあと、足寄町の現場を案内した。

2日目は、芽室町で施工する帯広開建発注「芽室川西地区帯広かわにし導水路伏美23線上流工区」など農業土木の現場へ。測量体験やドローンを使用した体験学習を提供した。

現場事務所では、岡田勝則監理技術者が現場について説明。かんがい工事の内容や目的、地域における建設業の役割を伝えた。現場では、パイプラインの設置工事の見学とともに、ことし入社した田中暖人監理技術者が測量機器の扱い方など

を教えた。

田中監理技術者は「現在は現場の環境が良くなり、働きやすくなっている。現場を見ることは大変勉強になる。こうした機会を縁にぜひ建設業を就職先の候補としてほしい」と期待を寄せた。

最終日は建築工事現場や土質試験などを見学。3日間で様々な工事を見て回った澤田さんは、地域の産業や暮らしを守り、発展に寄与する建設業の役割を学んだ。

同社ではことし3人の新入社員を採用。うち普通科高校の卒業生2人を専門学校で学ばせており、将来の技術者育成にも力を入れている。